

2. 光を感じながら、試したり考えたりするー「万華鏡作り」を通してー 富士松南幼稚園（愛知県刈谷市）

ねらい

- ◆ 友達や家族の人と一緒に見たり作ったり比べたりする中で、光の不思議さ・美しさを感じる。
- ◆ 感じたことを言葉に出したり、イメージしたことに向けて試したり工夫したりする。

活動内容

親子万華鏡作り(4歳児)

子ども

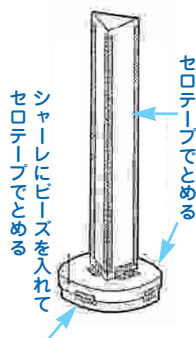
- ① ペットボトルに、絵や模様をつける

親

- ② ミラープレートで三角柱を作る。
 - ・ 青色の保護フィルムの方が外側になるように折り曲げる
 - ・ 折り目をしっかりと付ける
 - ・ 外側の青いフィルムと内側の透明フィルムをはがす。
 - ・ すきまができないように、セロテープで止める。
- ③ ウレタンをペットボトルの筒の太さに合わせて、丸く切る。
- ④ 透明の板をふたに合わせて切り、ふたに入れる。
- ⑤ ペットボトルの底から、3.5cmくらいのところで輪切りにする。

親子

- ⑥ シャーレにビーズやモールを入れてふたをし、周りをセロテープで止める。
- ⑦ シャーレのふたの中央にミラーを立て、セロテープで固定する。
- ⑧ ミラーをペットボトルの口に届くまで下から差し入れ、ボトルの底でふたをする
 - ・ シャーレのクッションになるようにウレタンを底に敷いておく。
- ⑨ ふたをする。



親に鏡の部分のミラーシートを組み立ててもらおうと、早速のぞき、「お母さんがいっぱい見える」と不思議がったり、友達顔をのぞき「見える・見える」と喜んだりした。

保護者の第一声は「こんなに簡単にできるの?」「自分でできるなんて。しかも、こんなにきれいにできるなんて」又、模様が変わる度に子供の表情がくるくる変わるのを見て「子どもが楽しそう」「生き生きしてる」と喜んでる方もあった。更に、「作るこつて久々だけど、楽しかった。子供より自分の方が真剣になってしまった」と心から楽しんでた。

5歳児 … 厚紙・キラキラシートを使って



R児は「年中組みの時、万華鏡を作ったよね。作らない?」とT児に誘いかける。教師は幼児ができる材料(ペットボトル・厚紙・牛乳パック・キラキラシート・ビーズ等)

R児：「前はペットボトルで作ったよね。大きい組さんは紙で作ってたよね。」

T児：「三角の鏡があったよね」

年中時の経験を思い出しながら、厚紙を三角柱にしてその中にキラキラシートを貼りつける方法で作っていった。四角や丸も作って試し、三角が一番きれいであることを見出す。

ボランティアによる、大型万華鏡作り



三面鏡を利用した大型万華鏡

模様の部分は自転車のタイヤ(リム)の金属部分を使う。また、暗い方がきれいに見えるということで万華鏡を箱に取り付ける



大型万華鏡おひろめ会

模様のきれいさだけでなく、上と下に広がる模様「吸い込まれそう」と感動する

ポイント

4歳児の「親子で万華鏡づくり」では、保護者と一緒に楽しむ様子が伝わってきます。5歳児は、以前万華鏡を作ったことを思い出し、今度は自分で素材を工夫したり、形を変えたりしながら一番きれいな方法を試したりするという姿に発展しています。ボランティアによる大型万華鏡作りなど、子どもたちの「試したり考えたり」する力を育む遊びの工夫がなされています。